

平成 30 年度事業報告

平成 30 年 10 月 1 日に旧同窓会より年間事業計画を引き継ぎ、継続的に事業を実施した。

(1) 第 55 回理事会・通常総会の開催(旧同窓会が実施)

平成 30 年 5 月 26 日(土)府中キャンパスにて第 55 回理事会・通常総会を開催した。

議事内容は、1)平成 29 年度事業報告(案)、2)平成 29 年度収支決算報告(案)、3)平成 29 年度監査報告、4)平成 30 年度事業計画(案)、5)平成 30 年度収支予算(案)、6)同窓会法人化について、7)理事・監事・代議員の任期延長について、8)特別会員の推薦報告について、9)名誉会長・名誉顧問及び顧問の推挙について、10)その他の件

(2)平成 30 年度各種会議の開催

平成 30 年 11 月 10 日(土)、府中キャンパスにて法人移行後の第 1 回理事会、副会長懇談会、部会長会及び支部長会を開催した。平成 31 年 3 月 16 日(土)に第 2 回理事会を開催した。

(3)同窓会組織の強化及び活性化

- 1) 一般社団法人化を完了させ、安定した運営が行えるようにした。
- 2) 代議員選挙を実施した。
- 3) 部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年 2 回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努めた。
- 4) 常務理事(運営委員)の部会・支部への派遣も引続き行い、今まで派遣していない支部にも派遣できるようにした。大学役員の派遣依頼にも応えられるよう大学との連携を図った。
- 5) 部会・支部活動の活性化のための支援の方策を検討した。
- 6) 同好会活動の充実に努めた。
- 7) 立候補代議員の登録の増加に努めた。
- 8) 部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会 WEB ページにある「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実にについて検討を重ねた。
- 9) 入会金・賛助会費等の会費の更なる納付率向上のための方策を検討し実施した。
- 10) 歳出削減に努めた。

(4) 同窓会の課題及び今後の対応

- 1) 学内外問わず、同窓会活動をご理解いただくため、同窓会紹介パンフレット(入学時及びペアレンツデーにて配布)及び同窓会 WEB による PR 活動に努めた。
- 2) 分収林の課題について、引き続き議論を重ねた。
- 3) 海外支部設置について、検討を引き続き行った。
- 4) 農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。
- 5) 祝電・弔電により祝意・弔意を表した。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈した。

(5) 準会員に対する援助、新入生歓迎行事の継続実施

準会員(学生)の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助並びに卒業・修了証書カバーの贈呈を行った。また、大学と協力しながら就活セミナー等を開催することで、同窓生となる準会員に対して、就職支援を行った。

(6) その他

- 1) 改組に伴う部会の組織編成のあり方についてさらに検討を行った。
- 2) 校歌・寮歌のCD化作業をさらに進めた。